

## 第158回役員会 議事要録

日 時：2025年1月20日（月）10：00～10：20

会 場：Microsoft Teams によるオンライン会議

出席者：津田理事長、柳井副理事長、白川理事、古川理事、漆原理事、上江洲理事、中本理事

オブザーバー：中野監事、福田監事、内田副学長、後藤副学長

### 議 案

- 1 産学連携協定について
- 2 台北科技大学との大学間協定の締結について

### 報 告

- 1 学長業績評価結果について

#### 議案1 産学連携協定について

\* 新学部（情報イノベーション学部）における共同教育の推進を目的とした産学官連携協定を2025年1月以降に複数企業と締結することについて提案。

#### <質疑応答>

##### [理事]

協定の締結にあたっては、学部として対応できる企業の数があると思う。今後、どれくらいの企業と協定を締結する予定か。また、企業それぞれで、学部や学生に対するニーズ等で違いがあると思われる中で、どのように教育カリキュラム等を調整していく考えか。

##### [副理事長]

協定の締結数については、30社程度を目標としている。また、教育カリキュラムについては、学部で使用する教科書やデータ等を大学主導で開発していきたいと考えている。その上で、ファカルディ・ディベロップメントを通して、教育方法や成績評価等に差が出ないように共通化していく予定である。

##### [監事]

産学連携協定を締結していく中で、学生や多くの企業が関わることになる。特に、守秘義務については、規程等を整備していく必要があると考えているので、対応をお願いしたい。

##### [副理事長]

重要なポイントであると認識している。学内で協議しながら対応したい。

##### [理事長]

新学部設置については、次の二つが期待されている。一つは、街のDX化であり、もう一つは、北九州市が期待しているスタートアップである。特に、AIを使ったスタートアップが非常に注目を集めていることから、どのようなデータをどのように活用しながら新しい事業を起こしていくのか、アントレプレナーシップを発揮するような人材を新学部で育成してもらいたい。そのためにも、実際にどのように計画して進めていくのかを、事前に整理しておいてもらいたい。

【議長】提案のとおり承認してよろしいか。

【委員】異議なし。

## 議案2 台北科技大学との大学間協定の締結について

- \* 台北科技大学（国立大学）と学生交流及び教員交流を目的とした大学間協定の締結について提案。台北科技大学の特徴としては、2020年に洋上風力関連の研究機関「離岸風電工程研究中心」が設置されカーボンニュートラル関連の研究等がある。

<質疑応答>

[理事長]

当該協定の締結をきっかけに、洋上風力関連の研究だけではなく、その他の分野の研究や教育にも連携を広げていく予定か。

[理事]

まずは、洋上風力に関連した連携を端緒として、新学部やその他の分野でも連携が広がっていけばよいと考えている。

【議長】提案のとおり承認してよろしいか。

【委員】異議なし。

## 報告1 学長業績評価結果について

- \* 学長の就任から2年毎に実施している学長業績評価の結果について報告。

<質疑応答> なし